



人と共に生きてきた  
とつとりの人形芝居がここに参集。  
あなたに、思いを伝えたくて……。

# とつとり文楽(人形芝居)、 再動!

とき

7月31日(日)  
10:00~12:30



ところ

とりぎん文化会館 展示室

演目

- ◎<sup>けいせい あわ なる と じゅんれいうた だん</sup>傾城阿波の鳴門・巡礼歌の段  
(智頭町新田人形浄瑠璃相生文楽)  
太夫・竹本友和嘉 (友和嘉会)  
三味線・鶴澤友勇 (淡路人形座)
- ◎<sup>つぼ さかれい げん き</sup>壺坂靈験記、おしん音頭  
(因幡文楽水口人形芝居保存会)
- ◎<sup>だ て むすめ こい の ひ が の こ ひ み や ぐ ら だん</sup>伊達娘恋緋鹿子・火の見櫓の段  
(木偶舎勸緑)
- ◎<sup>さん きち</sup>三吉デコ(オープニング)、  
<sup>ひら い ごん ばちあずまくだ</sup>平井権八東下り・前段  
(鳥取市円通寺人形芝居保存会)  
胡弓・木場大輔 (絹擦会代表)



\*各座では、子ども伝承教室を夏に開催予定です。ご希望の方は、下記までお問い合わせ下さい。

【お問い合わせ先】  
生活文化研究会  
080-6305-3568  
(坂根)

または、各座まで。

### ◆ 新田人形浄瑠璃相生文楽

明治初期に、村おこしのため「人形浄瑠璃」が始まりました。昭和10年の県演芸大会で優勝し、高い評価を受け、現在もその輝きを放っています。主な演じものは、傾城阿波の鳴門、三番叟など。(☎0858-75-1994)

### ◆ 因幡文楽水口人形芝居保存会

円通寺人形芝居から学び、その後、浄瑠璃へと独自の人形文化を育んできました。現在は、地域の催し物に出演する等の活動を行っています。主な演じものは、壺坂靈験記など。(☎0858-73-8207)

### ◆ 円通寺人形芝居保存会

江戸時代の終わりごろに始まる歴史を持つ人形芝居です。労働歌から生まれた「念力節」にあわせて、人形が舞います。浄瑠璃とは違う大ぶりの人形まわしが特徴です。主な演じものは、大黒舞、平井権八東下りなど。(☎0857-53-0713)



プレ舞台 7月30日(土) 14:00~15:30 とりぎん文化会館 展示室

## 浄瑠璃人形ワークショップ



人形の実演を観て、ふれて、体験しよう! (解説あり)

【実演】  
☆三番叟  
☆伊達娘恋緋鹿子・火の見櫓の段(お七)

ワークショップ  
浄瑠璃人形遣い  
勘緑さん

徳島県池田町生まれ  
文楽座を辞してフリーの人形遣いに。  
各地域の浄瑠璃人形や人形座の発展のため東奔西走している。「文楽人形遣い 木偶舎」代表